

特色と活力ある学校づくり 泊野小学校

「花いっぱい、歌いっぱい、本読みいっぱい」泊野小では、この合い言葉のもと、いろいろな活動に取り組んでいます。その中で今年も、「どの活動も一つ一つの過程を大切に、その過程を味わうことができる子どもの育成」に力点を置き、子ども・学校・地域が一体となった体験活動の充実に取り組んでいます。

【花いっぱい・・・】

「勤労生産的活動の充実」

これまで、子どもたちは、草花や農作物の手入れを通して、生産活動の喜びの一部を味わってきました。でも、



育てた花が学校を彩っています

それは、植え付けの部分と収穫の部分を手伝う程度のものでした。そこで今年は、それを見直し「子どもたちができることは、できる限り子どもたちの手に」委ねてみることにしました。その中でも「紫尾山学(習)」の一つ「米作り」の活動では、育苗から水田の整備、田植え、水の管理、草取りから収穫・頒布まで高学年が中心となって取り組んでいきます。そして、本当の苦労や汗の中、子どもたちがどんな喜びを見いだしてくれるか楽しみです。

【歌いっぱい・・・】

「表現活動の充実」

泊野小では、学習活動でも自主活動でも、子ども一人ひとりが主役です。大切な場面では、どの子も自分の考えや思いをしつかりと、道具や材料も生かして、伝えることができるよう取り組んでいます。心のこもったあいさつや歌声は、毎日のふれあいや声かけ、励ましの中で、確実に芽生えています。泊野は、子ども一人ひとりを見届け、見守ってくれる風土で溢れています。

【本読みいっぱい・・・】

「創作活動の充実」

親子読書活動に支えられ、泊野の子どもたちは、みんな読書が大好きです。読書から膨らむいろいろなイメージを



心をひとつにちくりんコンサート

子どもたちは、文や絵、自分たちの遊びにどんどん取り入れていきます。その中でも「作文力」は急に身に付くものではなく、毎日という「過程」の中で、感じたり、思ったことを自分の言葉で表現する活動の積み上げを通して、その力を培っています。一人ひとりの輝く言葉は豊かな体験と日頃の創作活動の中で生まれています。

【泊野小は特認校です】

「百聞は一見に如かず」といいます。制度に関心があらわれる方はぜひ一度ご連絡・ご訪問ください。

電気事故防止

シリーズ①

コードとコードを直接つないでいませんか？



「コードの芯を結ぶ」や「ダメだよ！」
必ず市販のコード接続器を使おう！

コード接続器によるコードの接続

コードとコードをねじり合わせてつないでいると、つなぎ目がゆるんで過熱したりぬけたりして危険です。コードをつなぐときは、必ずコード接続器を使ってください。

財団法人 九州電気保安協会